

令和 5 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 新緑・無所属の会

氏 名 吉田 淳一

項 目	研修費		
費 目	参加費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
1	10 / 12	10,000	第85回全国都市問題会議 参加費（青森県八戸市）（場所、主催者等は「活動記録簿」等に記載）
2	10 / 12	10,000	第85回全国都市問題会議 参加費（青森県八戸市）（場所、主催者等は「活動記録簿」等に記載）
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小 計		20,000	備 考
合 計		20,000	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研 修 費	費 目	参 加 費	整 理 番 号
領 収 書 等 貼 付 欄				

会議参加費 領収書

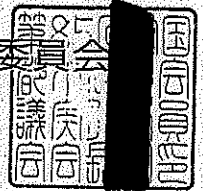
伊藤 圓子 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10 月 12 日

第85回全国都市問題会議実行委員会
会 長 熊 谷 雄 一



※ 領 収 書

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	参加費	整理番号
領収書等貼付欄				2

会議参加費 領収書

吉田 淳一

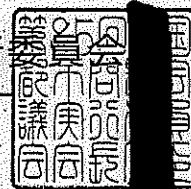
様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10月12日

第85回全国都市問題会議実行委員会
会長 熊谷 雄一



第 6 号様式（第 7 条、第 8 条関係）

活 動 記 録 簿

会派・議員名 新緑・無所属の会

項 目	研修費			
年 月 日	令和 5 年 10 月 12 日～13 日			
場 所	八戸市公会堂・公会堂文化ホール			
相 手 方	第 85 回全国都市問題会議実行委員会			
参加者氏名	伊藤 圓子 吉田 淳一			
目的・内容・ 結果等	別紙のとおり			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	参加費	会議参加費 (@10,000 円×2 人)	20,000 円	
			円	
			円	
			円	
			円	
備 考				

第85回 全国都市問題会議

《文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展》

○主催 全国市長会
後藤・安田記念東京都市研究会
日本都市センター
八戸市

○日程 令和5年10月12日～13日

○会場 { 八戸公会堂
八戸公民館

<第1日目> 9:30 ~ 16:30

<第2日目> 9:30 ~ 12:00

本会議は、2021年度に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の全国、世界的拡大のため延期され、今般の開催となった。

全国各地から訪勢、約2000人の参加者で市公会堂・市公民館を満杯にした。当市では大きなイベントとなった。

2日における日程で、基調講演、八戸市長による報告等の各々の発言内容は、資料の通り。

○ 印象深い報告

「標高差1500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出」と題して、長野県東御市長の花岡利夫氏による報告。人口3万、標高差1500m、平地が少ない、総面積112.37km²の市。

昔から地形を活かした馬産地で、夏馬が多かったが、近年はブドウ栽培、ワイン醸造に着手。長野県内初のワイン特区認定取得。

かつ、「高地トレーニング」の聖地へと足点と捉えられていた地勢をプラスに転換させた。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定時(12月) 日本水泳連盟が、1500mの湯の丸高原の標高に園ルを引いたことにより、契機となった。

花岡市長の現状突破エネルギーと発想、実現力が相まって「G1107

スリーツパーク湯の丸」の整備、オリンピック後世界から注目の取組みとなった。(日本オリンピック委員会水泳強化セカ)

東御市の呼び名「とうまれ」は、ほとんど読めない、この地でも知られていなかったが、人口増加と共に知名度がアップした。

地方創生のトップランナーを自ら実感する市長である。

驚いたことに、「湯の丸」から100人のトップアスリートを生み出すと、「高地トレーニング用プール施設」1200万、陸上施設、屋内運動施設、宿泊施設、アスリート食堂等を整備。

施設の新設費の市費を2023年10月に全額償還したいという点には、さらに驚き。この取組みに市出身者のみならず、全国から其縁を込めた寄附者の支援も大きかったように。

当然ながら、日々のアスリートのメカとにのみならず、ゴールメタリストや、マラソン選手に、市民も特に子どもにも、誇りを抱き、将来のアスリートを夢見る子どもも出現するに違いない。施設は、市民の健康、子どもへの教育にも活用し、これら本会議のテーマ、スポーツのまちづくり、都市の魅力と発展に相応しい報告であったと、感想をもった。